

## 平成 29 年度 総合技術研究所関連の行事等の紹介

平成 29 年  
4 月 27 日

### ・総合技術研究所オリエンテーション

総合技術研究所オリエンテーションが同研究所利用者を対象に開催され、教職員、学生合わせて 219 名の参加がありました。

はじめに鈴置所長から、挨拶に続き総合技術研究所の沿革、概要、施設・設立以降研究所で実施された大型プロジェクト研究等について紹介がありました。また、「研究者倫理規定（不正行為等の防止）」の概要、特に捏造・改ざん・盗用の特定不正行為の防止について説明がありました。

次いで、事務室足立から、研究所の利用について説明があり、管財課技術職員の水野さんと野村さんから、「総研の安全な利用」と題して、薬品管理について、高圧ガスについて、労働安全衛生法について、産業廃棄物・特別産業管理廃棄物の取扱いについてそれぞれ説明がありました。



5 月 18 日  
～19 日

### ・安城ものづくりコンベンション 2017 「ものコン」に出展

城商工会議所の主催、安城市の特別後援で、安城ものづくりコンベンション 2017 「ものコン」が開催されました。本学からは、機械学科松室昭仁教授、武田亘平講師の協力を得て、3D プリンター用高強度材料と形状記憶材料の開発研究紹介および、本学の学生チャレンジプロジェクトの活動紹介として、3D プリンター実機による実演と作品例を展示しました。多くの来場者が実機による製作過程に見入りながら、武田講師・学生チャレンジプロジェクトリーダーからの説明にも関心を示しました。

2 日間とも多くの来場者がブースを訪れ、展示・実演に興味を示し、意見交換も活発で、盛会裏に終えることができました。



6月22日

### ・第11回総合技術研究所シンポジウム

第11回(平成28年度)愛知工業大学プロジェクト共同研究シンポジウムを開催しました。総合技術研究所所長が開催の挨拶を行い、平成28年度のプロジェクト共同研究19件の中の16件(A研究9件, B研究7件)の研究発表が行われ、それぞれの発表について活発な質疑応答がなされました。



6月24日

### ・第1回工大サミット 技術立国支える人材の育成で意見交換

本学を含む私立5工大(愛知工業大学、大阪工業大学、芝浦工業大学、広島工業大学、福岡工業大学)が連携する「工大サミット」のキックオフイベントとなる「第1回工大サミット」(文部科学省、経済産業省、大阪府ほか後援)が6月24日、大阪市北区の大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワーで開かれました。

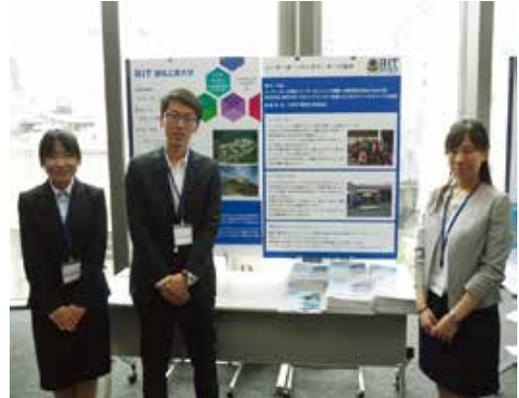
工学系教育の活性化を目指し、技術立国を支える人材育成のため協力関係を強固にしようと、第1回サミットに各大学の学長らが出席。本学からは後藤泰之学長の代理として曾我部博之副学長が出席しました。

初めに、文部科学省高等教育局の村田善則私学部長が挨拶し、続いて三菱電機先端技術総合研究所の水落隆司所長が「企業から工大サミットへの期待～少子化と人工知能の先に見えるもの～」と題し、企業が期待する人材などについて講演しました。

この後、5工大の学長らによるプレゼンテーションとパネルディスカッションが行われました。プレゼンテーションでは、曾我部副学長が「各大学の人的・物的資源を最大限活用し、国際社会で通用する工学知識を持った、イノベーションを創造できる人材育成に寄与したい」とサミットとして取り組むべき課題を話したほか、国内の工科系学生が減っている現状への危機感などが表明されました。

パネルディスカッションでは、イノベーション(技術革新)を起こす人材の育成が中心的な議題となり、曾我部副学長は本学で2009年と2014年に学生主体で取り組んだ映画製作を例に挙げて「宣伝用のウェブページや劇中のCG作成などを通じ、学生たちは世の中に提供する作品を作ることの難しさを知り、現実の社会で工学や技術がどのように利用され、展開されるかを実感できた」などと述べました。出席者から、イノベーションを目指す学生・教員同士の交流を求める声も出され、活発に意見交換しました。

会場には高校・大学や企業の関係者ら約400人が訪れ、参加した高校生らから魅力ある工科系の授業などについて質問が寄せられました。また、3階エントランスでは各大学の取り組みを紹介するパネル展示も行われました。



7月18日

### ・OKB大垣共立銀行と産学連携に関する協定を締結

7月18日、愛知工業大学（学長：後藤泰之）は、株式会社大垣共立銀行（頭取：土屋 嶮）と「産学連携に関する協定」を締結しました。

本協定は、両者の相互協力により地域活性化に資する産学連携活動を推進し、地域社会の発展に寄与することを目的としています。本学が金融機関と協定を結ぶのは今回が初めてとなります。

#### 【産学連携に関する協定の概要】

1. 締結日： 2017年7月18日（火）
2. 締結者： 学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学、OKB 大垣共立銀行
3. 目的： 相互の連携・協力により地域経済の活性化につなげることを目的とする。
4. 協定内容： 以下の事項についての連携・協力
  - 地域活性化のための活動に関すること
  - 企業等からの科学技術相談に関すること
  - 企業等からの共同・委託研究の推進に関すること
  - 地域における創業・新事業支援に関すること
  - 産学連携活動の推進に資するための人材育成に関すること
  - その他産学連携活動に寄与すること

7月21日

### ・第9回 AIT テクノサロン

最初に、総合技術研究所 所長の鈴置保雄教授からテクノサロンの経緯と目的を含めた挨拶があり、ついで3名の情報科学科教員から、「情報科学とAI」をテーマにタイムリーな話題について講演が行われました。

まず、伊藤雅教授から「コンピュータ囲碁の最前線」と題して、グーグルアルファ碁の開発経緯と製作ポリシーについて講演があった。引き続いて、鈴木晋教授から「自然

言語処理と情報検索」と題して、IBMの情報検索プログラム Watson の米国のクイズ番組での映像を交えて、開発と今後の利用について講演がありました。最後に、伊藤暢浩教授から「人工知能と RoboCup」と題して、ロボカップの歴史からロボカップ名古屋世界大会 2017 に至るまで、人工知能の普及とロボット利用の発達について講演がありました。

3 件の話題提供に参加者の皆さんは熱心に耳を傾け、活発な質疑応答もなされました。話題提供終了後、軽食と飲み物を取りながら和やかに意見交換を行いました。



11月16日

### ・大垣共立銀行との産学連携協定締結記念セミナーを開催

7月に大垣共立銀行と産学連携協定を締結したことを記念し、同行の顧客を対象としたセミナーを開催しました。第1回目となる今回は本学の各学科を紹介するという目的も含めて、全学科から1名が代表して講演されました。講演後、パネル展示により企業の方々と意見交換が行われました。

- ・より高速なワイヤレス通信を目指して 工学部電気学科 小西たつ美教授
- ・次世代型医療を目指す RNA 医薬の開発  
工学部応用化学科 北出幸夫教授 宮本寛子助教
- ・刃先の研磨加工による切削工具寿命向上 工学部機械学科 田中 浩教授
- ・コンクリートにフェロニッケルスラグ骨材の有効利用  
工学部土木工学科 呉 承寧教授
- ・AI時代の建築教育 工学部建築学科 安井秀夫教授
- ・開腹手術映像の知的アーカイブシステムの開発

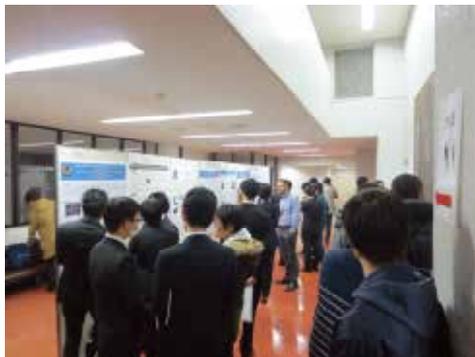
情報科学部情報科学科 北坂孝幸 准教授  
 経営学部からの産学官連携へのアプローチ 経営学部経営学科 羽田裕准教授



11月24日  
 ~25日

・ **グリーングリッドプロジェクト国際ワークショップ【IWGESD2017】**

愛工業大学「新エネルギー技術開拓拠点 グリーンエネルギーのための複合電力技術開拓（平成27年度～31年度）」グリーングリッドプロジェクト国際ワークショップ【IWGESD2017】を、開催いたしました。本学愛和会館講堂では、国内外招待講演者14名、学内講演者3名の講演が行われ、ロビーでは39名によるポスター発表が行われました。



12月 21日

### ・第10回 AIT テクノサロン

最初に、総合技術研究所 所長の鈴置保雄教授からテクノサロンの経緯と目的を含めた挨拶があり、ついで3名の経営学部経営学科教員から、"これからの付加価値創造"をテーマに豊富な話題について講演が行われました。

まず小林富雄教授から「食品ロスと世界のフードビジネス」と題して、食品ロス削減の現状とビジネスとしての取り組みについて、先進諸国の具体例を交えて講演がありました。次いで、田村隆善教授から「製品品質の向上と生産効率の向上」についての講演があり、ものづくり日本の現状と課題を指摘しました。最後に、後藤時政教授から「ものづくりと価値づくりによる付加価値の創造」について、日本の製造企業の持続的発展には、新たな価値づくりが重要であり、その面からも産学連携を進めたいとの講演がありました。

3件の話題提供に参加者の皆さんは配布利用を参照しながら熱心に耳を傾けていました。

話題提供終了後、軽食と飲み物を取りながら活発な意見交換が行われました。

3月 15日  
～16日

### ・第8回とよたビジネスフェア

第9回とよたビジネスフェアが3月15日、16日に、～来た！出会った！未来のものづくり！～をテーマにスカイホール豊田で開催されました。

本学からは、電気学科音響エネルギー研究室の活動紹介を兼ねて、電気学科小塚晃透教授のグラスハーブ、超音波霧化、超音波水中送受信、熱音響の応用技術を想起させるブース展示を行った。多くの来場者に関心を持っていただくことができ、好評を博しました。

